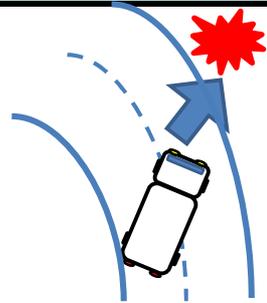
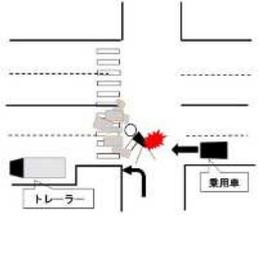
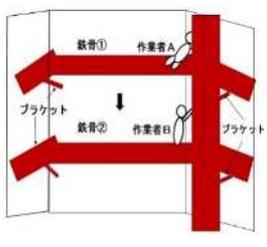
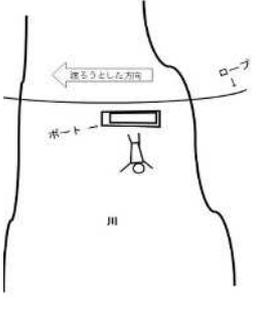
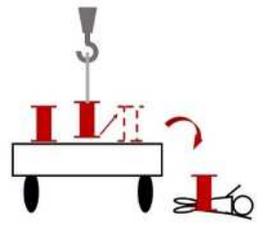


# 令和6年の死亡災害発生状況(確定)

令和7年3月31日確定

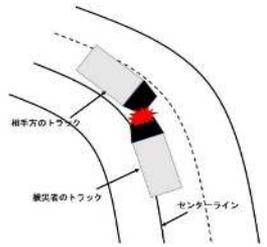
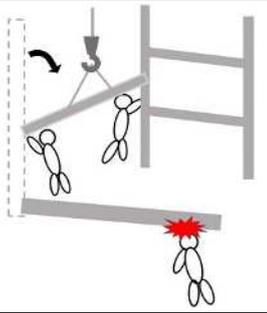
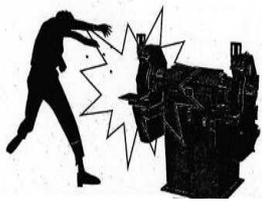
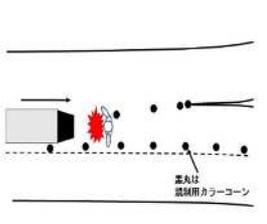
事故の型: 交通事故(道路) 7人、墜落、転落3人、飛来、落下3人、転倒1人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図 (同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
1	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	40代	<p>飼料運搬車にて荷先に飼料を運搬する途中、県道のガードレールを突き破って、約5メートル下に転落した。路面凍結により、左カーブを曲がり切れなかったものと推定される。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>路面状況に応じた運転をすること。</li> <li>冬季の深夜から早朝の時間帯にかかる運行は、路面凍結を念頭に置いて運行計画を作成し、運転者に周知すること。</li> </ul>		交通事故(道路)	トラック
2	2月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>トレーラーに鋼板を積んで運搬中、信号交差点を左折した際に、積み荷の鋼板が交差点内に落下した。被災者(運転者)はトレーラーを交差点の先にハザードを点滅させて駐車し、交差点内に散乱した鋼板を拾い集める作業を行っていたところ、後方から来た乗用車にひかれた。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路上の作業は行わないこと。止むを得ず道路上で作業する場合は、後方から来る自動車に注意喚起するための措置を講ずること。</li> </ul>		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
3	3月	土木建設業	男性	建設作業員	50代	<p>土留め支保工の組み立て中に、作業員Aが、鉄骨 上でレバブロックで移動させていたところ、ブラケットから外れ、鉄骨 とAが落下した。その際、下の鉄骨 上で作業をしていた作業員Bが鉄骨 の下敷きになったもの。(Aは重傷)</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土止め支保工の組立て作業手順を定めて作業を行うこと。</li> <li>上下作業を避けること。</li> </ul>		飛来、落下	支保工
4	3月	土木建設業	男性	建設作業員	20代	<p>作業員4人が川の右岸から左岸へボートで渡って作業していたところ、天候が悪化したため右岸に戻ることとなった。ロープを張り、ボートに乗ってロープを伝えて渡っていたところ、ボートが傾いて4人も川に投げ出された。3人はすぐに救出されたが、被災者は約300m下流に流された。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボートで川を渡る際はライフジャケットを着用すること。</li> <li>ロープを流れに垂直ではなく下流に向かうよう(図の右上から左下方向)に張ること。</li> </ul>		交通事故(その他)	その他の乗物
5	5月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	30代	<p>建設現場に長さ約10メートル、重量約3トンのH型鋼材を搬入中、クレーンでつり上げていたH型鋼材が、トラックに積んでいた別のH型鋼材に引っかかり、引っ掛けられたH型鋼材が荷台脇にいた被災者の上に落下した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉掛け作業員以外の者はクレーンの旋回範囲に立ち入らないこと。</li> <li>玉掛け作業員は、つり上げている荷の状況を確認し、他の荷と触れることによる危険を防止すること。</li> </ul>		飛来、落下	移動式クレーン

# 令和6年の死亡災害発生状況(確定)

令和7年3月31日確定

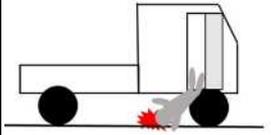
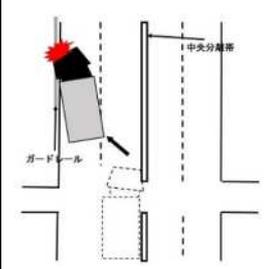
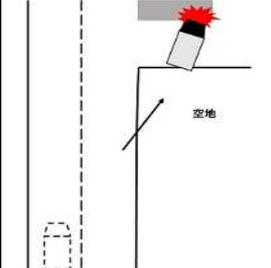
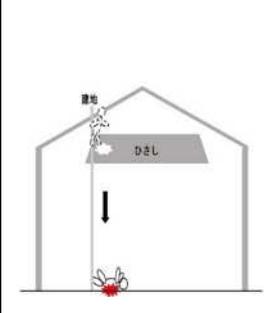
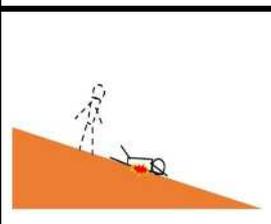
事故の型: 交通事故(道路) 7人、墜落、転落3人、飛来、落下3人、転倒1人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

6	6月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>大型トラック(最大積載量8.6トン)で荷物を搬送中、国道の下り左カーブで中央線をはみ出し、対向してきた大型トラック(最大積載量13.8トン)と衝突した。(相手方のトラック運転者も死亡した。)</p> <p>当該区間は対向車線が2車線、被災者側が1車線であり、被災者側の車線は中央線をはみ出し禁止を示すオレンジ色の表示であり、現場の手前にはみ出し禁止を示す標識があった。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法で定められた規制に従い走行すること。</li> </ul>		交通事故(道路)	トラック
7	6月	その他の建設業	男性	作業者	50代	<p>工場内の鋼製棚を解体する作業中に、別の作業者がつなぎ材をクレーンで吊って支えながらつなぎ材のボルトを外したところ、間柱が倒れ、付近にいた被災者を直撃した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体作業手順を全作業者で確認すること。</li> <li>・解体した部材が倒れる等により危険が及ぶ範囲への作業者の立入りを禁止すること。</li> </ul>		崩壊、倒壊	その他の装置、設備
8	8月	その他の金属製品製造業	男性	作業者	20代	<p>研削機械のといし(直径50cm、幅5cm)を交換して、覆いなどの調整を行い、鋳物の不要部分を研削していたところ、といしが破裂し、研削作業をしていた作業者が吹き飛ばされた。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交換するといしに異常がないか確認し、交換後は試運転を実施してから使用すること。</li> <li>・研削といしの取替え、試運転を行う作業者には、特別教育を実施すること。</li> </ul>		飛来、落下	研削盤、バフ盤
9	10月	その他の土木工事業	男性	作業者	30代	<p>道路の防音壁の草刈作業現場にて、規制の先端部で車両の誘導を行っていた被災者が、本線を走行してきた4トントラックにはねられた。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘導員を配置する場合は、緊急時に退避可能な場所に配置できるようにし、車線規制や誘導方法などについて検討すること。</li> </ul>		交通事故(道路)	トラック
10	10月	農業	男性	作業者	80代	<p>被災者は高さ5.6mの松の木の剪定作業を行うため、脚立の6段目(地上からの推定高さ1.6m)に上って作業していたところ、バランスを崩して地面に墜落した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業台等足場が安定した状態で作業すること。</li> <li>・地面からの高さが2メートルを超える場合で、作業床を設けることができないときには、墜落制止用器具を使用させること。</li> </ul>		墜落、転落	はしご等

# 令和6年の死亡災害発生状況(確定)

令和7年3月31日確定

事故の型: 交通事故(道路) 7人、墜落、転落3人、飛来、落下3人、転倒1人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

11	10月	その他の小売業	男性	作業員	50代	<p>トラックで出張先に向かい、出張先でトラックの運転台から降りようとしたところ転落したもの。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b>                      ・トラックを停車させる際には、降車時に足をとられない場所に止め、降車時には周囲の状況等を確認すること。</p>		墜落、転落	トラック
12	10月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>トレーラーを運転して国道を走行中に中央分離帯に乗り上げたはずみで左側のガードレールにトラクターの左前面が衝突した。運転手はシートベルトを着用しておらず、衝突の際に運転席から道路に投げ出された。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b>                      ・シートベルトを着用して運転すること。</p>		交通事故(道路)	トラック
13	11月	卸売業	男性	営業	60代	<p>1.5トントラックを運転して客先に向かう途中に、何らかの理由で走行していた車線から右側に逸走して、交差点脇にある擁壁に衝突した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b>                      ・運転業務に当たっては、当日の体調等を確認し、必要があれば運転をさせないこと。</p>		交通事故(道路)	トラック
14	11月	その他の建築工事業	男性	作業員	40代	<p>工場解体工事現場において、建屋の屋根部に設置された波板撤去作業にあたり、建地を登り、建屋に乗り移ろうとひさしのスレートに足をかけたところ、スレートが破損して約4.5メートル下の地面に墜落した。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b>                      ・建屋に登る際ははしご等の昇降器具を使用すること。                      ・スレートの上を歩く際は、踏み抜く危険を防止するため、歩み板を設けること。                      ・床面、地面からの高さが2メートル以上の場所で作業させる場合は、墜落制止用器具を使用させ、フック等を取り付ける親綱を設けること。</p>		墜落、転落	屋根、梁、もや、けた
15	11月	通信工事業	男性	作業員	50代	<p>午前中の作業を終えて坂道を下る途中に転倒して胸部を打ったため病院を受診したところ、肋骨骨折が認められたため、被災日の翌日から休業していたが、4日後に亡くなった。</p> <p><b>同種災害を防止するための対策例</b>                      ・坂道等斜面を下る場合は、足元に注意すること。</p>		転倒	通路

# 令和6年の死亡災害発生状況(確定)

令和7年3月31日確定

事故の型: 交通事故(道路) 7人、墜落、転落3人、飛来、落下3人、転倒1人、崩壊、倒壊1人、交通事故(その他)1人

16	12月	警備業	女性	警備員	40代	<p>高速道路の追越車線を規制した作業が終了し、規制解除のため、規制板の前方約100mの場所で発煙筒を追越車線に置いていたところ、追越車線を走行してきた乗用車にはねられたもの。</p>	<p>The diagram illustrates a highway accident scenario. It shows a multi-lane road with a dashed line for the overtaking lane. A car is shown in the overtaking lane, having been struck by a flare (発煙筒) placed on the road. A sign (規制板) is visible in the background. The text indicates that the flare was placed approximately 100m ahead of the sign after a lane restriction operation ended.</p>	<p>乗用車、バス、バイク</p> <p>交通事故(道路)</p>
						<p><b>同種災害を防止するための対策例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規制箇所より前方で作業する場合は、走行してくる車両が作業者の存在を認識できるための表示を行うこと。</li> <li>・作業中は監視員を配置すること。</li> </ul>		